



平成二十六年を振り返り、 新年を迎えるにあたって

この素晴らしい小城市

平成二十六年がもうすぐ終わろうとしています。振り返ってみれば、早い一年でした。今年も、天候が大変不順でしたが、小城市においては大きな災害等もなく良い一年だったのではないのでしょうか。

旧四町が合併して十年を迎え、来年三月一日には市制施行十周年として、記念式典と記念講演・シンポジウムを予定しています。また、教育関係においては、ICT教育も充実し小中一貫教育のモデル校として芦刈観瀾校がスタートしましたことも大変うれしく思っています。

さらに、本年十一月には、書聖中林梧竹翁が明治三十一年に富士山の頂上に建立した銅碑「鎮國之山」の複製を東京のカルピス本社から寄贈していただき、天山の八合目駐車場に再建することが出来ました。天候の良い日には是非見に行ってください。眼下に小城市や佐賀平野、そして、有明海が見渡せる



この銅碑を見て頂けたらきっと感動されることと思います。

私自身が今年感動したことは、姉妹都市交流をしている鹿児島県南九州市の「知覧ねぶた祭り」を見学したことです。ねぶたの壮大な祭りは、平成二十八年に七百年を迎える小城祇園祭り開催にあたり大変参考になると思います。

年末年始は、選挙等で慌ただしく過ぎていきますが、新年もこの自然と歴史豊かな小城市に誇りを持って、そこにステータスを感じて住んでいただけるよう、まちづくり・ひとづくりに全力で取り組んでまいります。いつもお世話になっております市民の皆さん方に、心から感謝申し上げます。素晴らしい新年をお迎えください。感謝

平成二十六年十二月吉日

小城市長 沼野秀次

